

# ブランドプロジェクト通信

～ 地域（まち）に真剣（マジ）になる～

## 第3回ブランドプロジェクトワークショップ開催 ～ブランドPJも佳境!!導き出せ、富士市のBattleField～

過去のワークショップで掘り起こした富士市の魅力を組み合わせ、BattleFieldを導き出すためのワークショップを行いました。具体的には、架空の人物「ペルソナ」を3人設定し、富士市の魅力を使って、その人物を幸せにする物語を16個つくりました。その16個の物語を重なり合わせることで、BattleFieldが浮かび上がってきました。

次回は、いよいよコピーライターがBattleFieldを踏まえて、複数のブランドメッセージ案を提示します。ガチンコな意見交換になりそうです!!



富士市の魅力がこんなにたくさん!!



①具体的なペルソナを3人設定



②幸せ物語に活用できそうな魅力を選出



③幸せ物語作成中



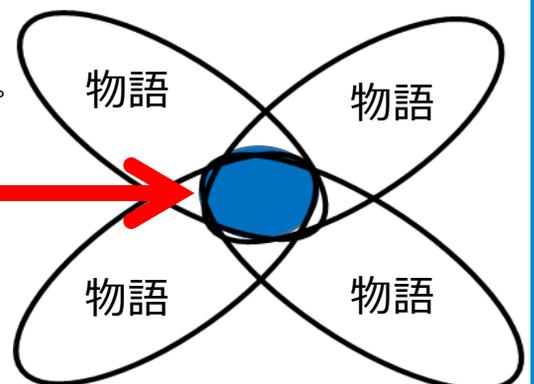
④富士市の魅力を組み合わせ  
16人のペルソナを幸せにできました♪

### 【BattleFieldとは】

富士市の魅力を活用して、富士市に暮らす人、訪れる人を幸せにできる物語を複数作り、物語を重ね合わせた時に導き出される部分。

# BattleField

その“まち”が「特別なまち」「世界一のまち」  
になれる可能性が秘められている



富士市のBattleFieldは裏へGO!!

## 【16の物語を重ね、導き出された・・・富士市のBattleField】

- 海と富士山を背景に栄えた近代製紙業発祥のまち。豊かな地下水、豊富な森林資源、潤井川の水（水力発電）が結びつき、工業港田子の浦港の開港に繋がった
- 「海と富士山」、いかえれば「ゼロ（原点）と日本一の“てっぺん”」がある。これにより、富士山を地域に持つほかの自治体と明確に差異化することが可能
- 駿河湾の深さと富士山の高さが育んだ気候や地形、そのふもとで暮らす人々の営みは多様性に満ちており、「懐の深さ」「守備範囲の広さ」は日本一かもしれない
- 野望をもった人や悩みを持った人たちが迷わない、「道しるべ」のようなネットワーク環境がある  
【例】「f-Biz」、「コミュニティF」、「まちづくりセンター」など
- 何度でも蘇り、再生するまち。それにまつわる人々の物語がある  
【例】「高潮被害による吉原宿の移転」、「古郡氏三代による富士川の治水」、「田子の浦のイメージ“ヘッドロ”⇒“しらす”へ」など

### ブランドPJワーキングメンバーの紹介



ブランドPJワーキングメンバーのDEEPな魅力に迫ります!!

	名前	うつみ きょういちろう 内海 京一郎
	職業	文具事務用品販売業 (マルウチ)
	生まれたところ	吉原病院
	中学生の時に好きだった芸能人	松本伊予ちゃん
	富士市のココが好き	新幹線・東名インターが近くて便利。新鮮な海山の食材を口にすることが出来る。地域を愛する人々が多い。

人口減・企業減の危機感から、富士市の魅力を発掘・発信することにより、全国区で有名な町、日本一がある町を目指していきたいと考えています。

	名前	わたなべ あやな 渡邊 綾那
	職業	会社員（地域情報紙 ぶらりっ。編集部）
	生まれたところ	富士市(鷹岡)
	中学生の時に好きだった芸能人	タッキー（滝沢秀明）
	富士市のココが好き	豊かな自然と人財

富士市に住んでいる・関わっている人が、まずは「その気になる」ブランドメッセージができればいいな～と思っています！

	名前	たけむら さえり 武村 冴里
	職業	鷹岡まちづくりセンター
	生まれたところ	富士宮市
	中学生の時に好きだった芸能人	安室奈美恵
	富士市のココが好き	1年中暖かくて富士山がキレイに見えるところ

地域と行政とを結び拠点である地区まちづくりセンターの職員として、ブランドメッセージが多くの方の共感を得られるよう取り組んでいきたいです。

	名前	うえまつ ゆうと 植松 勇人
	職業	会社員
	生まれたところ	富士市(旧富士川町)
	中学生の時に好きだった芸能人	稲葉浩志(B'z)、松井秀喜(プロ野球選手)
	富士市のココが好き	いろんなアングルで富士山を見られる！生しらすが美味しい！

華やかな都会にはない富士市の持つ魅力を若い世代が知り、富士市という町に「誇り」を持つことができるきっかけ作りに携わることの魅力を感じます。若い世代、特に20代の「幸せ」を実現できるブランドメッセージを考えられるように頑張ります！

### 検討チームメンバーの真剣（マジ）なコメントコーナー



鈴木 剛 さん

これからの時代、「地元を愛し、まちにマジになる人」がたくさんいるまちこそが、光り輝くと思います。ワーキングメンバーの皆さんは、正に「まちにマジな人」ばかりで、アツい思いが重なり合った先に、どんな『ブランドメッセージ』が生み出せるのか、今からワクワクしています。自分達の子ども世代、そして、孫世代と、このまちに関わるすべての人達に「わがまち富士市！」と、誇りに思ってもらえるように、職員として、富士市民として、持てる力を振り絞って頑張っています！！

ブランドPJについてご意見等がございましたら、お気軽にお寄せください

富士市 観光課 富士山・シティプロモーション推進室

〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地

TEL 0545-55-2958 FAX 0545-51-1997

URL: <http://www.city.fuji.shizuoka.jp>

Mail: [sy-kankou@div.city.fuji.shizuoka.jp](mailto:sy-kankou@div.city.fuji.shizuoka.jp)

